

話題提供者:橋本直子

<経歴と現在のポジション>

オクスフォード大学院難民研究所「強制移住学」修士号取得（スワイヤー奨学生）、ロンドン大学（Queen Mary & UCL）国際人権法ディプロマ取得。日本政府ニューヨーク国連代表部・人権人道問題担当専門調査員、IOM 本部人身取引対策課プログラム・オフィサー、UNHCR 北部スリランカ事務所・准法務官、外務省総合外交政策局人権人道課・国際人権法人道法調査員、法務省入国者収容所等視察委員会西日本委員等を経て、2007年よりIOM 駐日事務所プログラム・マネージャー。2015年9月よりIOM を退職し、日本財団国際フェローとしてサセックス大学博士研究課程に在籍。同時に、ロンドン大学難民法イニシアチブ博士アフィリエイト、JICA シリア難民支援研究事業アドバイザー。

<トークの内容>

「ヨーロッパの難民危機」がメディアを賑わすようになって数年経つが、実はイギリスはEU 内では（EU 離脱決定の前から）独特の難民保護政策を採っている。

そこでまずはこのトークではイギリスの難民保護政策について概観したい。

同時に、イギリスの学界では長年「難民・強制移住学」が盛んで様々な研究が行われている。その代表的な潮流と最近の議論について（発表者の専門分野を中心に）簡単に紹介したい。